

立論グランプリ 2020 の開催について

2020年9月27日 更新

全国教室ディベート連盟

全国教室ディベート連盟は、2020年度の開催が中止となった全国中学・高校ディベート選手権（ディベート甲子園）に代わり、「立論グランプリ」を開催いたします。

今回の立論グランプリでは、試合の形式で議論をすることは叶いませんが、今までディベートを通して培ってきた力を発揮する場として、ご参加ください。また、立論グランプリをきっかけにディベートに興味を持ってくださった中高生の皆様のご参加もお待ちしております。

募集要項

➤ 日程

- 9月30日：申し込み締め切り
- 10月下旬：予選結果発表（中高それぞれ上位5校を選出）
- 11月15日：決勝審査登録締め切り
- 12月13日午後：決勝結果発表・表彰（オンライン表彰式を実施）

➤ 主催

- 全国教室ディベート連盟

➤ 後援

- 読売新聞社

➤ 論題

- 中学の部：日本は救急車の利用を有料化すべきである。是か非か（2012年中学論題）
 - * 有料化とは一回の利用につき定額の支払いを義務づけることとする
 - * 有料化の対象はすべての利用者とする
 - * 収入は、自治体の一般財源とし、用途を限定しないものとする
- 高校の部：日本は首相公選制を導入すべきである。是か非か。（2013年高校論題）
 - * ここでいう「首相公選制」とは、「首相公選制を考える懇談会」報告書(平成14年8月7日)の「I 国民が首相指名選挙を直接行なう案」とする。

➤ 参加資格

- 全国中学・高校ディベート選手権大会要綱（<http://nade.jp/koshien/rule/outline>）の出場資格に準じる
- ただし、チームの登録選手の人数制限についてはこれを設けない（2名未満、6名超での登録も可とする）

➤ 参加方法

- 予選審査：所定のフォーマット（後述）に従った文書ファイルを肯定側・否定側各1本ずつ提出
- 決勝審査：所定のフォーマット（後述）に従った動画ファイルを肯定側・否定側各1本ずつ提出

➤ 参加費

- 無料

➤ 審査方法

- 予選審査：提出された文書に対して、複数の審査員が「分析」「理由付け」「証拠資料」「構成」の各観点で採点し、点数のより高い者を上位とする
- 決勝審査：提出された動画に対して、複数の審査員が「分析」「理由付け」「証拠資料」「構成」「表現」の各観点で評価して順位付けを行い、その総合順位が高い者を上位とする

➤ 賞

- 優勝：盾・賞状・図書カード（1万円）を贈呈
- 準優勝：盾・賞状・図書カード（5千円）を贈呈
- 第三位：盾・賞状・図書カード（3千円）を贈呈
- 第四位、第五位：賞状を贈呈
- ベストコミュニケーション賞：盾・賞状を贈呈

➤ 結果発表方法

《予選》

- 連盟ウェブサイト上で決勝審査進出校を公開、および該当校には個別連絡

《決勝》

- インターネット配信によるオンライン表彰式を開催

➤ 提出先

《予選審査》

- 申し込みフォーム（<https://forms.gle/Xcroq6GMQ9E22oUi9>）に必要事項を記入し、同フォームに文書ファイルをアップロードする（要：Google アカウント）

《決勝審査》

- 登録フォーム（該当校にのみ URL を連絡）に必要事項を記入し、同フォームに動画ファイルをアップロードする（要：Google アカウント）

➤ 提出フォーマット詳細

《予選審査》

- 肯定側立論、否定側立論の計 2 点。否定側立論で対象とする定義・プランは自身が提示した肯定側立論のものを想定する
- 文字数制限は、中学の部：1,600 字、高校の部：2,400 字（スペースを含まない文字数とする）
なお、MS Word のステータスバーに表示される「xxx 文字」は今回の規定における文字数を正しく表示しないので注意（本稿末尾の参考資料を参照）
- 文字の装飾（文字色・サイズの変更、太字、下線等）は禁止。もしあった場合には審査前に除去される
- 図表の視覚的引用は禁止。引用元が図表の場合はその内容を文字として書き起こすこと。その他、証拠資料に関する規定は全国中学・高校ディベート選手権ルール 細則 A（証拠資料に関する細則）に準じる
- 文書作成ソフトウェアでドキュメントファイル（.docx@Microsoft Word / Apple Pages、.odt@LibreOffice Writer 等）を作成し、申し込みフォームにファイルをアップロードする（1 ファイルあたり 1MB まで）

《決勝審査》

- 肯定側立論、否定側立論の計 2 点、予選審査で用いた立論原稿を読み上げた動画をアップロードする
- 制限時間は、中学の部：4 分、高校の部：6 分
- スマートフォン、ビデオカメラ等で撮影した動画ファイル（.mp4、.mov、.avi、.wmv、.webm 等）を決勝審査登録フォームにアップロードする
- 横長の画角で撮影し、1 ファイル辺り 1GB を上限とする

➤ その他注意事項

- 本大会参加のための資料収集、立論原稿作成、動画撮影などの活動にあたっては、所属する学校の課外活動の指針等に従い、感染症予防に十分に配慮して行ってください
文部科学省の『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～「学校の新しい生活様式」～』（https://www.mext.go.jp/a_menu/coronavirus/mext_00029.html）も参考にしてください
- 本大会に関する個人情報・肖像権の取り扱いについては、「立論グランプリ 2020 における個人情報及び肖像権に関わる取り扱いについて」（<http://nade.jp/files/uploads/grandprix2020-privacy-policy.pdf>）を参照ください

➤ 問合せ先

- 立論グランプリ 2020 受付窓口（grandprix2020@nade.jp）

《参考：MS Word の文字数カウントについて》

MS Word のステータスバー（画面左下）に表示される「xxx 文字」は、実際には単語数を数えており、半角英数字の連続を 1 とカウントしてしまうため、日本語における文字数の値と等しくない。

下記の例でいえば、「2020 年 9 月 27 日」は正しくは 10 文字だが、「2020」と「27」をそれぞれ 1 と数えてしまい、6 文字と表示されている。

（英語圏で開発されたソフトを日本語に移植した際の不適切な翻訳と思われる。）

正しい値を調べるには、メニューの「校閲」→「文章校正」→「文字カウント」を選ぶか、ショートカットキー「CTRL+SHIFT+G」を押し、文字数（スペースを含めない）の値を確認する。

